

平成27年度医療系統合教育について

○ 平成27年度に開講する医療系統合教育科目は、次のとおりです。

「漢方医薬学」
「医工連携」
「インフォームド・コンセント」
「薬害」
「チーム医療演習」
「臨床倫理」
「医療イノベーション」
「地域包括ケアシステム」

○ 受講にあたっては、各科目の日程・場所・対象学部・学科・学年・授業内容等を確認してください。

○ 講義室の収容人員の関係上、履修制限を行う科目があります。

○ 収容人員に余裕があれば、対象学部・学科・学年以外の学生が受講することは可能です。

○ 受講希望者は所属学部・学科の学生系の指示に従って、履修登録を行ってください。

RCEHS

九州大学医療系統合教育研究センター（学内共同教育研究施設）

Reserch Center For Education In Health Care System

平成27年度医療系統合教育の実施について

前 期	3時限	4時限	5時限	対象学部・学科・学年	会 場
5月12日（火）	漢 方 医 薬 学	医 工 連 携	<div>（医工連携） 医学科・生命科学科4年</div> <div>（漢方医薬学） （インフォームド・コンセント） 医学科・生命科学科4年 保健学科（放射）4年 歯学部4年 薬学部4年 薬学府創薬科学専攻 博士後期課程1年</div>	<div>（医工連携） 臨床小講堂2</div> <div>（漢方医薬学） 臨床大講堂</div> <div>（インフォームド・コンセント） 臨床大講堂 クリニカルトレーニングセンター</div>	
5月19日（火）					
5月26日（火）					
6月 2日（火）					
6月 9日（火）	インフォームド・ コ ン セ ント				
6月16日（火）					
6月23日（火）					
6月30日（火）					
7月 7日（火）					

後 期	3時限	4時限	5時限	対象学部・学科・学年	会 場	
9月29日（火）	薬 害			（薬害） 医学科・生命科学科4年 保健学科（看護）3，4年 保健学科（検査）4年 歯学部4年 薬学部3年 （チーム医療演習） 医学科4年 薬学部臨床薬学科4年 薬学府創薬科学専攻 博士後期課程1年 （臨床倫理） 医学科4年 保健学科（看護）3，4年 保健学科（検査）4年 歯学部4年 薬学部4年 薬学府創薬科学専攻 博士後期課程1年 （医療イノベーション） （地域包括ケアシステム） 医学科4年 保健学科（看護）3，4年 保健学科（放射・検査）4年 歯学部4年 薬学部4年	（薬害） 箱崎地区旧工学部 大講義室	
10月 6日（火）						
10月13日（火）						
10月20日（火）	チー ム 医 療 演 習				（チーム医療演習） 臨床大講堂， クリニカルトレーニング センター	
10月27日（火）						
11月10日（火）						
11月17日（火）	臨 床 倫 理					（臨床倫理） 臨床大講堂
11月24日（火）						
12月 1日（火）						
12月22日（火）	医 療 イ ノ ベー シ ョ ン 地域包括ケアシステム				（医療イノベーション） 臨床大講堂 （地域包括ケアシステム） 臨床小講堂1	
1月12日（火）						
1月19日（火）						
1月26日（火）						
2月 2日（火）						

平成27年度 医療系統合教育科目の開設学年等

科目名	医 学 部					歯学部	薬 学 部		薬学府創薬科学専攻博士後期課程(注)
	医学科	生 命科学科	保健学科				臨 床薬学科	創 薬科学科	
			看護	放射	検査				
漢 方 医 薬 学	4年	4年	—	4年	—	4年	4年	4年	1年
	必修	選択	—	選択必修	—	選択	必修	選択	必修
イノベーション・ コンセプト	4年	4年	—	4年	—	4年	4年	4年	1年
	選択必修	選択	—	選択必修	—	必修	必修	選択	必修
薬 害	4年	4年	3・4年	—	4年	4年	3年	3年	—
	必修	選択	選択必修	—	選択必修	必修	必修	必修	—
臨 床 倫 理	4年	—	3・4年	—	4年	4年	4年	4年	1年
	選択必修	—	選択必修	—	選択必修	必修	必修	選択	必修
医 工 連 携	4年	4年	—	—	—	—	—	—	—
	選択必修	選択	—	—	—	—	—	—	—
チ ャーム 医療演習	4年	—	—	—	—	—	4年	—	1年
	選択必修	—	—	—	—	—	必修	—	必修
医 療 イノベーション	4年	—	3・4年	4年	4年	4年	4年	4年	—
	選択必修	—	選択必修	選択	選択	選択必修	選択	選択	—
地 域 包 括 ケアシステム	4年	—	3・4年	4年	4年	4年	4年	4年	—
	選択必修	—	選択必修	選択	選択	選択必修	選択	選択	—

(注) 薬剤師国家試験受験資格取得コースのみ対象。 学部で未修得の科目を修得する。

平成27年度 医療系統合教育科目の担当教員・協力教員

科 目 名	担 当 教 員 (◎印は代表。所属の記載なしの教員はセンター委員)	協力教員
漢 方 医 薬 学	(医) 貝沼茂三郎	高橋一郎, 島添隆雄
イノベーション・ コンセプト	◎三木洋一郎 吉田素文, 島添隆雄, 菊川誠, (保) 佐々木雅之	
薬 害	◎笹栗俊之 島添隆雄, 高橋一郎, 大池美也子, 中尾久子	
臨 床 倫 理	◎吉田素文 菊川誠, 中尾久子, 高橋一郎, 島添隆雄	
医 工 連 携	(医) 橋爪誠	(医) 江頭健輔
チーム医療演習	◎島添隆雄 吉田素文, 菊川誠	
医療イノベーション	(医) 中西洋一 高橋一郎	(先端) 杉山大介、(医) 安藤由典
地域包括ケアシステム	(医) 馬場園明 三木洋一郎	(医) 鴨打正浩、(医) 貝沼茂三郎

平成27年度 医療系統合教育科目「漢方医薬学」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅵ・3単位の一部・前期・必修						
	専攻教育科目・医学部生命科学科・4年 医療系統合教育科目・1単位・前期・選択						
	専攻教育科目・歯学部・4年 前期・1単位・選択						
	専攻教育科目・薬学部・4年 前期・1単位・臨床薬学科必修，創薬科学科選択						
	専門教育科目・医学部保健学科（放射）・4年 前期・1単位・選択必修						
担当教員	貝沼 茂三郎（医、代表）、森元 聡・島添隆雄・江頭伸昭（薬）、 岡 孝和・迎はる（医）						
授業の概要							
平成27年度医療系統合教育「漢方医薬学」講義日程							
月	日	曜	時間	講義内容	担当者	講義室	
5	12	火	13：00-14：30	漢方医薬学総論	貝沼 茂三郎	臨床大講堂	
			14：50-16：20	薬学から見た漢方の問題点及び有用性	森元 聡 島添 隆雄		
5	19	火	13：00-14：30	六病位とその代表的な方剤について	貝沼 茂三郎		
			14：50-16：20	気の異常について	岡 孝和		
5	26	火	13：00-14：30	血と水の異常について	迎 はる		
			14：50-16：20	漢方医学的診断・診療の実際について	貝沼 茂三郎		
6	2	火	13：00-14：30	漢方製剤の種類と適正使用	江頭 伸昭		
			14：50-16：20	ストレスと漢方治療 感染症における漢方治療	岡 孝和 貝沼 茂三郎		
授業の進め方							
試験・成績評価 レポート提出							
その他							

平成27年度 医療系統合教育科目「医工連携」シラバス

対象科目区分・対象学生 学年・授業科目名・単位数		専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅵの一部・3単位の1部・選択必修			
		専攻教育科目・医学部生命科学科・4年 医療系統合教育科目・1単位・選択			
授業の概要		先端医工学の多彩な臨床応用について実習や見学を交えながら学ぶ			
授業日程		試験・成績評価	出席状況：20％ レポート提出：80％		
日 時		講 義 内 容		担当 教員	場所
2015.5.12(火) 5 限目		ロボット手術システム（1） 内視鏡ロボット手術システムの臨床応用について理解する		橋爪 (医学研 究院)	臨床小講堂2
2015.5.19(火) 5 限目		ロボット手術システム（2） 内視鏡ロボット手術システムの臨床応用について理解する			
2015.5.26(火) 5 限目		学術用ネットワークを利用した新しい遠隔医療： 福岡から世界へ（1） IT を駆使した遠隔医療について理解する		清水 (医学研 究院)	
2015.6.2（火） 5 限目		学術用ネットワークを利用した新しい遠隔医療： 福岡から世界へ（2） IT を駆使した遠隔医療について理解する			
2015.6.9（火） 5 限目		ナノテクノロジーの医学応用 スーパー特区で推進されているナノテクノロジーが切り拓く新たな医療を理解する		江頭 (医学研 究院)	
2015.6.16(火) 5 限目		バイオニック心臓病学 スーパー特区で推進されているバイオニック医学の臨床応用について理解する		岸 (医学研 究院)	
2015.6.23(火) 5 限目		整形外科領域における医工連携の実際（1） 計算力学や生体材料工学を駆使した人工関節等の基礎や臨床応用について理解する		中島 (医学研 究院)	
2015.6.30(火) 5 限目		整形外科領域における医工連携の実際（2） 計算力学や生体材料工学を駆使した人工関節等の基礎や臨床応用について理解する		岡崎 (医学研 究院)	

平成27年度 医療系統合教育科目「インフォームド・コンセント」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅵ・3単位の一部・前期・選択必修
	専攻教育科目・医学部生命科学科・4年 医療系統合教育科目・1単位・前期・選択
	専門教育科目・歯学部・4年 歯学総論Ⅳ・通年・全5単位の一部・必修
	専攻教育科目・薬学部・4年 臨床薬学Ⅳ・前期・1単位・臨床薬学科必修，創薬科学科選択
	専門教育科目・医学部保健学科（放射）・4年 前期・1単位・選択必修
担当教員	三木洋一郎（歯、代表）、島添隆雄（薬）、中尾久子（保）、吉田素文・菊川誠（医）
授業の概要 <p>日常医療および臨床研究におけるインフォームド・コンセント（以下 IC）について、患者側、医療者側の視点や法的側面に関する講義、IC の場面のロールプレイ、個人または学部学科の枠を超えたグループによる考察や討論などを通して、IC を得ることの大切さ、難しさを実感し、今後の医療活動に役立てる。</p> <p>有志の上級学生（主に前年度の履修者）が授業を企画し、運営をサポートする。</p>	
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期の火曜日午後の3、4時限に開講する。 6月9日、6月16日、6月23日、6月30日、7月7日 ・ 以下のテーマの講義を受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ IC をめぐる患者側の視点 ➢ 日常医療における IC をめぐる医療者側の視点 ➢ 臨床研究における IC をめぐる医療者側の視点 ➢ IC の法的側面 ・ 複数の学部学科の学生からなる混成チームで以下の学習活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ グループ討論 ➢ 学生相互のロールプレイ ➢ 模擬患者とのロールプレイ 	
試験・成績評価 <p>出席・欠席状況……40%、課題レポート……60%</p> <p>※レポートの内容次第で、ポートフォリオ（学習やレポート作成に使用したノート、資料などをファイルしたもの）の提出を求め、学習の取組み状況をチェックすることがある。</p>	
その他 <p>アンケートによる授業評価を行う。</p>	

平成27年度 医療系統合教育科目「薬害」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅶ・5単位の一部・後期・必修
	専攻教育科目・医学部生命科学科・4年 医療系統合教育科目・1単位・後期・選択
	専門教育科目・歯学部・4年 歯学総論Ⅳ・後期・全5単位の一部・必修
	専攻教育科目・薬学部・3年 薬学基礎実習Ⅳ・後期全2単位の一部・必修
	専門教育科目・医学部保健学科（看護）3・4年、（検査）4年 後期・1単位・選択必修
授業方法及び開講学期	2015年度後期に集中講義 9月29日（火）、10月6日（火）、10月13日（火） 3、4、5時限
担当教員名	笹栗俊之（医、代表）、島添隆雄（薬）、高橋一郎（歯）、 大池美代子・中尾久子（保）
履修条件	特になし
授業の概要	講師によるオムニバス講義と討論
全体の教育目標	これまでに発生した薬害問題を知り、薬害の原因と薬害根絶のための対策について考え、医療業務や医薬学研究、医療行政などに将来携わる者としての意識や態度を育む。
個別の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・薬害被害者やその家族の体験や思いを直接聞くことにより、薬害の現実を認識する。 ・薬害発生の要因を臨床的・行政的・社会的側面から考え、説明できる。 ・薬害を防止するためには医療の専門家として何をすればよいのか、考えることができる。
授業計画	第1日：オリエンテーション、薬害事例（講師2名）、討論 第2日：薬害事例（講師2名）、討論 第3日：講義（講師2名）、討論、まとめ
キーワード	薬害、サリドマイド、エイズ、C型肝炎、ヤコブ病、PMDA
授業の進め方	百年講堂大ホールにて、講師による講演形式で授業を行う。別途、授業に関するプリントを配布する。講演終了後、グループ討論および質疑応答を行う。
学習相談	特になし
試験・成績評価の方法等	出席状況 レポート * 認定は各部局にて行う

平成27年度 医療系統合教育科目「チーム医療演習」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅶ・5単位の一部・後期・選択必修
	専攻教育科目・薬学部・4年 後期・実務実習プレ実習・全2単位の一部・必修
授業方法及び開講学期	2015年度後期に集中講義 10月20日（火）、10月27日（火）11月10日（火）、 11月17日（火） 3、4、5時限
担当教員名	島添隆雄（薬）、吉田素文・菊川誠（医）、小林大介・窪田敏夫（薬）
履修条件	特になし
授業の概要	医師、薬剤師間の連携を主題とし、それぞれの職種を目指す学生が、将来、より効果的な副作用モニタリングを実施するようになるために、互いの役割と特性を理解し合い、活かし合うことを目的とする教育・学習プログラムを計画し、実施することになった。
全体の教育目標	将来、医師と薬剤師との十分な連携のもとに、薬物治療における副作用の早期発見・早期治療ができるようになるために、それぞれの臨床実習(医)あるいは実務実習(薬)において、担当した患者の薬物治療における副作用モニタリングの訓練を開始できる能力を修得する。
個別の学習目標	特になし
授業計画	改めて配布する。
キーワード	チーム医療、副作用、身体観察
授業の進め方	演習・実習
学習相談	個別に対応する。
試験・成績評価の方法等	出席状況 * 認定は各部局にて行う

平成27年度 医療系統合教育科目「臨床倫理」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専門教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅶ・5単位の一部・後期・選択必修
	専門教育科目・歯学部・4年 関連臨床医学・後期・全5単位の一部・必修
	専門教育科目・薬学部・4年 臨床倫理・後期・ 臨床薬学科は医療系統合教育科目（2単位・必修）の一部 創薬科学科は専攻選択科目・1単位
	専門教育科目・医学部保健学科 （看護）3・4年、（検査）4年 医療系統合教育科目・後期・1単位・選択必修
担当教員	吉田素文（医）、高橋一郎（歯）、島添隆雄（薬）、中尾久子（保）
授業の概要 医療現場で実習を行う際に、倫理的課題を孕む事例に気づき、自分なりに検討する視点を持つことができるようになるために、非常勤講師によるロールプレイ主体の授業を含め、医療現場における倫理的課題について、事例を題材にした学部混成の小グループ学習を行い、医療者としての対応の難しさを実感するとともに、チーム医療の基盤を形成する。	
授業の進め方 ・ 後期の火曜日午後の3～5時限に、全3回（9コマ）開講する。 「4分割表を用いた臨床における倫理的課題の検討」（2回、6コマ） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 学部混成の小グループに分かれ、ビデオまたは印刷資料で提示される事例を、4分割表を用いて検討し、グループ発表、全体討論を行う。 ➤ 1回目と2回目の間で Web 学習システムを用いた課題の提出、講師とのやり取りを行う。 「倫理的課題を含む医療面接」（1回、3コマ） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 講師：岐阜大学医学教育開発センター教授 藤崎和彦 ➤ 学部混成の小グループに分かれ、代表者が自分の学部に沿った役割で、倫理的課題を含む医療面接のロールプレイを行い、全体討議を行う。 	
試験・成績評価 出席・欠席状況……40%、課題レポート……60% ※レポートの内容により学習成果物（学習やレポート作成に使用したノート、資料などをファイルしたもの）の提出を求めることがある。	
その他 アンケートによる授業評価を行う。	

平成27年度 医療系統合教育科目「医療イノベーション」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専門教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅶ・5単位の一部・後期・選択必修
	専門教育科目・歯学部・4年 歯学総論Ⅳ・通年・全5単位の一部・選択必修
	専門教育科目・薬学部・4年 「医療イノベーション」・選択（総合選択履修科目）・1単位
	専門教育科目・医学部保健学科 （看護）3・4年 選択必修、（放射・検査）4年 選択 医療系統合教育科目・後期・1単位
担当教員	中西洋一（医学研究院呼吸器科学分野、病院 ARO 次世代医療センター長） 高橋一郎（歯）
授業の概要 <p>未曾有の高齢社会となった我が国の国民と国家の活力を維持し発展させるためには、健康寿命の伸長が喫緊の課題であり、認知症、運動器疾患、呼吸循環器疾患等の加齢に特有で QOL を著しく低下させる疾患の画期的治療法の開発が求められている。我が国の医学研究は世界を先導する成果を挙げてきたにもかかわらず、研究成果の実用化例はきわめて乏しい。</p> <p>この授業は、「基礎研究―橋渡し研究―臨床研究―実用化」の一連の流れを、将来に向けて絶えることなく推進するため、熾烈な国際競争のさなかにあるメディカルイノベーションの全体像を俯瞰する広い視野を持ち、発明の実用化という具体的目標達成に向けた強い意志と行動力を育成することを目的とする。</p>	
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生後期の3、4時限に開講される。 ・ 以下の内容が含まれる講義を受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 知財戦略と開発戦略 ➢ 海外における医療イノベーションの現状 ➢ 臨床研究の現状とエビデンス構築の実際 ➢ 臨床研究の倫理と規制 ➢ 臨床研究デザイン ➢ 臨床研究データの解析 ➢ 橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）の推進体制とその現状 	
試験・成績評価 <p>出欠状況及び課題レポートで評価する。</p> <p>レポートの内容により、ポートフォリオ（学習やレポート作成に使用したノート、資料などをファイルしたもの）の提出を求めることがある。</p>	
その他 <p>アンケートによる授業評価を行う。</p>	

平成27年度 総合医学Ⅶ「地域包括ケアシステム」シラバス

対象科目区分・対象学生・学年 授業科目名・開講期間・単位数	専攻教育科目・医学部医学科・4年 総合医学Ⅶ・後期・全3単位の一部・選択必修
	専門教育科目・歯学部・4年 歯学総論Ⅳ・通年・全5単位の一部・選択必修
	専門教育科目・薬学部・4年 「地域包括ケアシステム」・選択（総合選択履修科目）・1単位
	専門教育科目・医学部保健学科 （看護）3・4年 選択必修、（放射・検査）4年 選択 医療系統合教育科目・後期・1単位
担当教員	馬場園明・鴨打正浩（医療経営・管理学講座）、貝沼茂三郎（地域医療教育ユニット） 三木洋一郎（歯）
授業の概要 地域包括ケアシステムとは、「要介護者が介護施設に入所して集団的ケアを受けるのではなく、本人の住まいに外部から医療や介護サービスを定期的に提供する仕組み」のことである。すなわち、「ニーズに応じて住宅が提供されることを基本とした上で生活上の安全・安心・健康を確保するために、医療や介護のみならず、福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活の場で適切に提供されるような地域での体制」を指している。それには、「住まいと住まい方」「生活支援」「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」必要とされている。これらを実現するために、理念、政策、ケア、ケース・スタディを学ぶ。	
授業の進め方 平成28年1月12日3限（鴨打）「高齢者の疾患と診療」臨床小講堂1 平成28年1月12日4限（馬場園）「わが国の高齢者ケアと地域包括ケアシステム」臨床小講堂1 平成28年1月19日3限（鴨打）「健康寿命の延伸と健康対策」臨床小講堂1 平成28年1月19日4限（馬場園）「介護保険と地域包括ケアシステム」臨床小講堂1 平成28年1月26日3限（貝沼）「地域包括ケア 症例検討（1）」臨床小講堂1 平成28年1月26日4限（貝沼）「地域包括ケア 症例検討（2）」臨床小講堂1 平成28年2月2日3限（鴨打）「疾病管理」臨床小講堂1 平成26年2月2日4限（馬場園）「地域包括ケアシステムの構築に向けて」臨床小講堂1	
試験・成績評価 出席・欠席状況……40%、課題レポート……60% レポートは以下のテーマのひとつを選んで2月2日に提出（1600字以内） 1、包括ケアシステムを構築するための課題と対策 2、地域包括ケアを担うリーダーとなるためには 3、高齢者における疾患の特徴と健康対策	
その他 アンケートによる授業評価を行う。	

